

# 緊急消防援助隊情報

## 緊急消防援助隊車両(津波・大規模風水害対策車)の配備について

### 広域応援室

#### 1. はじめに

東日本大震災では、発災日から88日間にわたり、延べ約3万1千隊、約11万名の緊急消防援助隊員が消防・救助活動に尽力し、5,064名の人命を救助しました。しかし、がれきが山積する現場や広範囲に浸水が続く現場など、活動に苦慮した事例があったことから、機動力の高い車両・資機材等の配備の必要性が強く認識されました。

消防庁では、こうした教訓を踏まえ、冠水地域において円滑に消防活動が果たせるよう、水陸両用バギーや水難救助資機材を装備した「津波・大規模風水害対策車両」を配備することとしましたので、その概要を紹介します。

#### 2. 津波・大規模風水害対策車両

##### (1) 車両概要

「津波・大規模風水害対策車両」は、全長約9.3m、全幅約2.5mで、泥ねい地において高い走破性のある水陸両用バギーやFRPボート、ライフジャケット等の資機材を積載し、津波や大規模風水害による冠水地域での人命救助に特化した特殊消防車両です。



津波・大規模風水害対策車両

#### 【特徴】

##### ●水陸両用バギー

全長:3,020mm、全幅:1,525mm、  
全高:1,900mm、乗車定員:陸上  
6名・水上4名、最高速度:陸上  
32km/h・水上4km/h、登坂可能  
斜度:30度



水陸両用バギー



FRP製ボート

##### ●FRP製ボート

繊維強化プラスチック製  
で、組み立て式のためコン  
パクトに収納が可能。

##### ●ゴムボート

馬力の高い船外機が取付けられ  
るため、風水害時等で流れの強  
い流域の活動に適している。



ゴムボート



落水者リカバリーシステム

##### ●落水者リカバリーシステム

1人または2人の少ない操作  
員で要救助者をボート上に引  
き上げることが可能。

##### ●フローティング担架

水抜きの良いメッシュ構造で、  
フレームにフロートを備えるこ  
とで浮力を有している。



フローティング担架



スケッドストレッチャー

##### ●スケッドストレッチャー

狭い空間からの引きずり救  
出を行うことに適している。  
瓦礫等が堆積する場所  
での搬送に有効。



●**ドライスーツ**

伸縮性と耐擦過性がある完全気密仕様の水難救助用ドライスーツ。



ドライスーツ



胴付長靴

●**胴付長靴**

つま先保護並びに踏み抜き防止処理。

●**ライフジャケット**

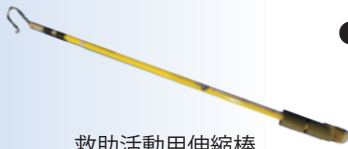
浮力が高く、視認性、収納性も考慮したもので、無線等の器材収納が可能な大型ポケットを装備。



ライフジャケット

●**救助活動用伸縮棒**

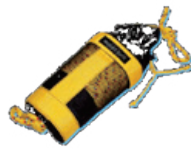
伸縮可能となっており、引っ掛け、水中での引き寄せなどが可能。



救助活動用伸縮棒

●**スローバッグ**

水上の要救助者を入水することなく救出が可能。



スローバッグ



トランシーバー

●**特定省電力トランシーバー（防水タイプ）**

(2) **配備先等**

本車両は、消防庁が消防組織法第50条（国有財産等の無償使用）に基づき、南海トラフ地震や首都直下地震により甚大な被害が想定される地域や全国的な大規模災害への即応体制を考慮し、全国15消防本部に配備しました。

**配備先消防本部**

都道府県名	消防本部名
1 北海道	苫小牧市消防本部
2 岩手県	北上地区消防組合消防本部
3 宮城県	塩釜地区消防事務組合消防本部
4 茨城県	日立市消防本部
5 埼玉県	埼玉東部消防組合消防局
6 神奈川県	平塚市消防本部
7 新潟県	新潟市消防局

	都道府県名	消防本部名
8	富山県	富山県東部消防組合消防本部
9	愛知県	海部南部消防組合消防本部
10	大阪府	大阪市消防局
11	兵庫県	神戸市消防局
12	和歌山県	和歌山市消防局
13	島根県	江津邑智消防組合消防本部
14	岡山県	岡山市消防局
15	徳島県	徳島市消防局
16	熊本県	八代広域行政事務組合消防本部
17	沖縄県	那覇市消防局

※3及び5については、平成26年度配備予定

(3) **水陸両用バギー操作訓練**

水陸両用バギーは、高い走破性を有し、冠水地域において機動的な人命救助活動が期待できることから、本格的な梅雨期及び台風時期を前にした平成26年6月、配備先消防機関の隊員を対象に操作訓練を実施しました。訓練では、安全管理はもとより、スラローム、斜面上昇・降下、不整地走行、水上航行等の実技を行いました。



不整地走行訓練



水上訓練



泥ねい地走行訓練

3. **おわりに**

この「津波・大規模風水害対策車両」は、東日本大震災での教訓を踏まえ、津波浸水地域における緊急消防援助隊の活動能力向上を図るために配備されたものです。各配備先消防本部におかれましては、今後、訓練等を通じて、装備・資機材の習熟を図っていただき、大規模風水害時等には、緊急消防援助隊として効果的な活動を行い、人命救助活動に役立てていただくことを期待しています。

**問い合わせ先**

消防庁国民保護・防災部防災課広域応援室 二村  
TEL: 03-5253-7527